

授業科目名	【G】	特殊講義(日本政治外交史)	区 分 選 択	開講年次	【G】3	単位数	【G】2						
	【H】	専門講義(日本政治外交史)			【H】3		【H】2						
	【I】	専門講義(日本政治外交史)			【I】3		【I】2						
科目区分	専門科目												
授業形態	対面開講												
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・一・一)科目 【H】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・一・一)科目 【I】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・一・一)科目											
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「日本史・外国史」(中一種免社会) 「日本史・外国史」(高一種免地歴)												
サブタイトル	基礎から学ぶ近代日本の政治・外交			担当者	池田 卓也								
授業概要	【概要】	本授業は、近代(一部、現代を含む)日本の歴史について、政治・外交を中心にみていく授業です。授業では、各時代の概要について踏まえたうえで、現代の私たちの社会・生活とのつながりも意識しながら、関連するテーマ・用語や史料を取りあげて解説します。なお、履修者の学修状況その他の理由により、授業計画等を変更する場合があります。あらかじめご承知置きください。											
	【到達目標】	1. 近代(一部、現代を含む)日本の政治・外交に関する基礎的な知識を修得し、その概要を説明できる。 2. 近代(一部、現代を含む)日本の政治・外交に関する基本用語を理解し、的確に使用できる。 3. 近代(一部、現代を含む)日本の政治・外交への理解を深めることで、現代日本の政治・外交を相対的に捉えられるようになる。 4. 過去という「異文化」体験を通じて、異なる意見や価値観に対する寛容さを身につけ、他者を尊重・理解できる。											
履修条件	特にありません。												
アクティブラーニングの方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク					
	【○】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ					
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他					
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)											
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)											
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)											
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	○ (やや当てはまる)											
他科目との関	必須ではありませんが、「歴史学概論」・「日本史概論」・「政治学入門」・「日本法制史Ⅰ」を履修していることが望ましく、また本科目と同時に「日本法制史Ⅱ」を履修すると、さらに理解が深まります。												
教科書	特に指定しません。必要に応じて資料を配付します(Google Classroomを利用)。												
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 五百旗頭 薫・奈良岡聰智『日本政治外交史』改訂版(放送大学教材)(放送大学教育振興会、2025年) ISBN 978-4-595-32518-2 清水唯一朗・瀧井一博・村井良太『日本政治史:現代日本を形作るもの』(有斐閣ストゥディア)(有斐閣、2023年) ISBN 978-4-641-15070-6 佐々木雄一『近代日本外交史:幕末の開国から太平洋戦争まで』(中公新書;2719)(中央公論新社、2022年) ISBN 978-4-12-102719-1 佐藤 信・五味文彦・高埜利彦・鈴木 淳ほか『高校日本史』(文部科学省検定済教科書;日探706)(山川出版社、2023年) ISBN 978-4-634-70122-9 その他、必要に応じて紹介します。												
評価方法	「授業実時数の3分の2以上の出席者」を評価対象として、以下の方法で評価します。 <ul style="list-style-type: none"> 授業内試験 50% ※履修者数次第では定期試験に変更して実施します。 平常点(課題等を含む) 50% ※responを適宜利用します。 												
フィードバック方法	講義内容については適宜質問を受け付け、課題については授業時に講評を行って、学修内容の深化を促します。												
評価基準	積極的な授業への参加・節度ある授業態度を基本に、以下の評価基準で評価します。 <table border="0"> <tr> <td>S: 授業内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている</td> <td>A: 授業内容を概ね理解し、優秀な成績をおさめている</td> </tr> <tr> <td>B: 授業内容を部分的に理解している</td> <td>C: 授業内容を最低限理解している</td> </tr> <tr> <td>D: 授業内容をほとんど理解していない</td> <td>E: 授業内容を理解していない</td> </tr> </table> F: 「授業実時数の3分の2未満の出席者」である、未提出の課題が多い、授業内試験を欠席する、などの理由により評価不能である							S: 授業内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	A: 授業内容を概ね理解し、優秀な成績をおさめている	B: 授業内容を部分的に理解している	C: 授業内容を最低限理解している	D: 授業内容をほとんど理解していない	E: 授業内容を理解していない
S: 授業内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	A: 授業内容を概ね理解し、優秀な成績をおさめている												
B: 授業内容を部分的に理解している	C: 授業内容を最低限理解している												
D: 授業内容をほとんど理解していない	E: 授業内容を理解していない												

授 業 科目名	【G】	特殊講義（日本政治外交史）	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【H】	専門講義（日本政治外交史）	選 択		【H】3		【H】2
科目名	【I】	専門講義（日本政治外交史）			【I】3		【I】2
授業回数	授業内容						
1	イントロダクション・「政治外交史」とは？ 予習： 日本近代史の政治・外交に関わる既習内容を列挙する。(2時間) 復習： 「政治外交史」の位置づけや研究手法、時代区分について整理する。(2時間)						
2	日本近代史概観 予習： 日本近代史の大まかな流れについて既習内容を確認する。(2時間) 復習： 「近代社会の特質」を核として授業内容を整理する。(2時間)						
3	開国とその影響 予習： 「開国」について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 開国の経緯や不平等条約・貿易について整理する。(2時間)						
4	幕府の滅亡と新政府の発足 予習： 幕末の歴史について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 明治新政府の発足に至る過程について整理する。(2時間)						
5	明治維新 予習： 明治新政府の政策について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 明治維新期の内政・外交について整理する。(2時間)						
6	立憲国家の成立 予習： 自由民権運動について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 大日本帝国憲法の制定・初期議会に至る過程について整理する。(2時間)						
7	大陸政策の展開① 予習： 条約改正・日清戦争について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 条約改正の過程と日清戦争前後の内政・外交について整理する。(2時間)						
8	大陸政策の展開② 予習： 日露戦争について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 日露戦争前後の内政・外交について整理する。(2時間)						
9	第一次世界大戦と日本 予習： 第一次世界大戦・大正デモクラシーについて既習内容を確認する。(2時間) 復習： 大正政変から第一次世界大戦期の内政・外交について整理する。(2時間)						
10	ワシントン体制 予習： パリ講和会議・ワシントン体制・第2次護憲運動について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 第一次世界大戦後の内政・外交について整理する。(2時間)						
11	恐慌の時代 予習： 金融恐慌・昭和恐慌・ロンドン条約問題について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 昭和初期の内政・外交について整理する。(2時間)						
12	アジア・太平洋戦争① 予習： 満洲事変・日中戦争について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 日中戦争に至る過程と戦争長期化の誤算について整理する。(2時間)						
13	アジア・太平洋戦争② 予習： 太平洋戦争について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 日米開戦の経緯と終戦に至る過程について整理する。(2時間)						
14	占領下の政策と主権の回復 予習： 占領下の政策について既習内容を確認する。(2時間) 復習： 占領期の内政・外交について整理する。(2時間)						
15	授業内試験／まとめ ※履修者数次第では、別途、定期試験を実施します。 予習： 第1回～第14回の授業内容について総復習する。(2時間) 復習： 授業内試験を通じて理解が不十分だとわかった内容について改めて確認する。(2時間)						
その他	歴史を知ることは「現在を知ること」でもあります。現代の私たちの社会・生活・価値観との共通点や違いを意識しながら、節度をもって受講し、日本近代の政治・外交について、さらには私たち自身について理解を深めてください。そして、ご自身の未来に向けてのヒントを見つけてください。						